

科目名	ドイツ語 I	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	文字と綴り・発音の原則を学習した後に、自然なドイツ語の発音ができるまで練習を重ねる。そのあとで、文法を学ぶ上で最も基本的な事項である「動詞の現在人称変化」と「名詞の格変化」を扱う。並行して、ドイツ語圏の人々の暮らしや歴史・文化についての映像や資料を紹介する。
	到達目標	1) ドイツ語の発音原則を理解し、単語や文章をきちんと音読できる。 2) 動詞の現在人称変化の原則を理解し、重要な単語を用いた文を作ることができる。 3) 名詞の格変化の原則を理解し、主な名詞を用いたドイツ語文を使うことができる。 4) ドイツ語圏における生活や社会・文化について、理解を深める。
授業計画	(1) つづりの読み方と発音「母音」、「子音」 : トピック「世界の言語」 (2) ドイツ語のあいさつ「おはようございます!」、数詞 (0～10) (3) 第1課「朝アンナはいつもコーヒーを飲む」人称代名詞、動詞の現在人称変化 (4) 不定詞句と平叙文、疑問文 : トピック「ドイツの食文化」「ヨーロッパの地形」 (5) 重要動詞 sein (be), haben(have), werden (become) 練習問題 : 「ヒト・クニ・コトバ」 (6) 第2課「その木はとても大きい」名詞の性、名詞の複数形、数詞 (11～20) (7) 名詞の格変化、格の用法 : トピック : 「ドイツの歴史と宗教」、数詞 (21～100) (8) 練習問題、確認と補足 : トピック : 「ヒト・クニ・コトバ」「ヨーロッパの気候」 (9) 第3課「ヘルガは、日本人はいつも着物を着ていると思っている」前置詞の格支配 (10) 3格支配の前置詞、4格支配の前置詞、3・4格支配の前置詞 : 「ドイツ人の余暇・休暇」 (11) 従属接続詞と副文、不規則動詞、練習問題、確認と補足 : 「ヨーロッパの歴史と宗教」 (12) 第4課「ザビーネはプレゼントを喜んでいる」人称代名詞の格変化 (13) 再帰代名詞、再帰動詞、: トピック「ドイツの手工業・農業」 (14) 代名詞の各種用法、練習問題、確認と補足 : トピック「ヨーロッパの言語」 (15) 確認と補足 動詞の人称変化、名詞の格変化、ドイツ語文の語順と構文分析	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業内容の理解度を確認する小テストを毎回行う
使用教材・参考文献	使用教材	『総合学習・異文化理解のドイツ語』 大藪正彦著、第1版、朝日出版社 (ISBN978-4-255-25391-6 C1084)
	参考文献	独和辞典を必ず用意すること。『新アポロン独和辞典』(同学社)、『新アクセス独和辞典』(三修社)、『新クラウン独和辞典』(三省堂)等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。
成績評価の基準と方法	基準	ドイツ語の初歩的な文法事項を理解していて、評価点の合計が60点以上を取得した者は合格とする。
	方法	受講態度 15%、小テスト 25%、期末試験 60%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	ドイツ語Ⅱ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	名詞関係では定冠詞（類）および不定冠詞（類）の格変化を学習するとともに、形容詞の比較変化・格変化についても学習する。動詞関係では分離動詞および話法の助動詞を学び、基本的な文章の構造を分析する方法を練習する。またドイツ社会の交通、教育、スポーツ事情等について学習するとともに、隣接する各国の歴史文化を学ぶ。
	到達目標	1) 定冠詞（類）および不定冠詞（類）のついた名詞の格変化形を言うことができる。 2) 形容詞の付加語的变化および比較変化形の用法を理解し、応用することができる。 3) 分離動詞および非分離動詞の形とその意味及び用法を理解し、応用できる 4) 話法の助動詞の意味と使い方を理解するとともに、これを用いた表現ができる。 5) 現代ドイツ社会および隣接する各国についての理解を深める。
授業計画	(1) 第5課「ミューラーさんは車を持っていない」 定冠詞類の格変化、不定冠詞類の格変化 (2) 命令・依頼・提案などの表現：トピック「ドイツの交通事情」 (3) 練習問題、確認と補足（否定文、語順等）/：隣国「デンマーク、北ヨーロッパ」 (4) 第6課「その小さな犬はヴァルディという名前だ」 形容詞の格変化 (5) 形容詞の比較変化：トピック「ドイツのビール・ワイン、そして環境」 (6) 比較の表現：隣国「ベネルクス」 (7) 練習問題、確認と補足（形容詞の名詞化、同等の比較、形容詞に副詞的用法） (8) 第7課「クラウドは朝いつも9時に起きる」 分離動詞と枠構造 (9) 非分離動詞：トピック「ドイツの教育制度」 (10) 分離・非分離前綴り / 隣国「フランス」 (11) 練習問題、確認と補足（分離動詞の命令表現、語順、nicht の位置） (12) 第8課「ペトラはとても上手にサッカーをすることができる」話法の助動詞 (13) 話法の助動詞の各種用法：トピック「ドイツサッカー」 (14) 助動詞(werden, lassen)、練習問題、確認と補足（動詞 wissen）：隣国「イタリア」 (15) 総復習：不規則変化動詞、人称代名詞、前置詞、話法の助動詞	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業内容の理解度を確認するための小テストを毎回行う
使用教材・参考文献	使用教材	『総合学習・異文化理解のドイツ語』 大藪正彦著、第1版、朝日出版社 (ISBN978-4-255-25391-6 C1084)
	参考文献	独和辞典は必ず用意すること。『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。
成績評価の基準と方法	基準	ドイツ語の文章構造を分析し、主語と動詞および目的語の関係について説明できる力が習得できているかを見る。また、簡単な文を用いて家族紹介したり、道を尋ねたり、買い物をしたりする基本的な表現を習得して、評価点の合計が60点以上の者を合格とする。
	方法	受講態度15%、小テスト25%、期末試験60%
備考	ドイツ語Ⅰを履修していることを前提にして授業を進める。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	ドイツ語Ⅲ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	話法の助動詞や分離動詞を学んで、表現内容の幅を広げるとともに、動詞三基本形の作り方を習得して、時称変化形の用法を会得する。また、形容詞で修飾する名詞の変化形の原則および代表的な不定代名詞の用法を学習する。
	到達目標	1) 代表的な話法の助動詞の変化形を言うことができる。 2) 分離動詞を用いて作文ができる。 3) 定冠詞（類）および不定冠詞（類）のついた名詞の格変化形を記すことができる。 4) 代表的な動詞の三基本形を言うことができる。 5) 現在完了形で報告文を書くことができる。
授業計画	(1) 第9課「列車はいつ出発するの？」分離動詞と枠構造 (2) 命令形の作り方と用法 (3) 時刻表現：時刻表の使い方、切符の買い方 (4) 練習問題：ドイツの鉄道網と観光名所 (5) 第10課「音楽に興味があります」形容詞の付加語的用法 (6) 形容詞の格変化「形容詞＋名詞」「(不)定冠詞＋形容詞＋名詞」 (7) 再帰代名詞と再帰動詞 (8) 練習問題：ドイツのデパート、買い物 (9) 第11課「あれは素晴らしかったな」動詞の三基本形 (10) 規則変化動詞、不規則変化動詞 (11) 過去人称変化、練習問題 (12) 従属の接続詞と副文（従属文）：ドイツの祝祭日 (13) 第12課「おいしかった」完了時称の作り方 (14) 現在完了形とその用法 (15) 練習問題：ドイツの料理、ドイツの映画事情	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	使用教材	『ドイツ語インフォメーション neu2』 秋田静男他著、第3版、朝日出版社 (ISBN978-4-255-25358-9 C1084)
	参考文献	独和辞典：『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。
成績評価の基準と方法	基準	ドイツ語を用いて簡単な報告ができる、ドイツ語文の構造を分析し、辞書を用いながら、内容の概略を説明することができる等の力を習得していて、評価点の合計が60点以上の者を合格とする。
	方法	受講態度 15%、小テスト 25%、期末試験 60%。
備考	ドイツ語Ⅱを履修したことを前提にして授業を進める。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	ドイツ語Ⅳ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	動詞の6時称の作り方と用法を習得し、これらの形を会話や作文で使用する力を高める。さらに、ドイツ語でよく用いられる形容詞・副詞の比較級、関係代名詞、再帰動詞等について理解を深めるとともに、受動態および接続法の用法についても時間が許すかぎり詳しく学ぶ。
	到達目標	1) 三基本形の作り方を理解し、重要なものを暗記する。 2) 過去形、現在完了形を会話や作文の中で運用できる。 3) 関係代名詞を用いて2つの文を結合することができる。 4) 受動態の作り方と意味を理解する。 5) 接続法の形と用法、意味について理解する。
授業計画	(1) 中級へのステップ：文法補足 (1) 未来の助動詞、使役の助動詞、知覚動詞 (2) 不定詞句と枠構造：ドイツのことわざ (1) (3) 形容詞と副詞の比較級・最上級 (4) 比較表現の用法：ドイツのことわざ (2) (5) zu 不定詞句の作り方と用法 (6) 受動態の作り方と時称：ドイツのクリスマス (7) 受動態と用法 (1) 動作受動 (8) 受動態の用法 (2) 状態受動：「Ginkgo biloba(銀杏の葉)」J. W. v. Goethe (9) 関係代名詞と関係文： (10) 関係代名詞の用法 (11) 不定関係代名詞：「An die Freude(歓喜に寄す)」Fr. Schiller / L. v. Beethoven (12) 接続法とは何か、その作り方 (第I式、第II式) (13) 接続法の用法 (1) 間接話法 (2) 要求話法 (14) 接続法の用法 (3) 非現実話法 (15) 接続法の用法 (4) 願望表現、ていねい表現	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	使用教材	『ドイツ語インフォメーション neu2』 秋田静男他著、第3版、朝日出版社 (ISBN978-4-255-25358-9 C1084)
	参考文献	『新アポロン独和辞典』(同学社)、『新アクセス独和辞典』(三修社)、『新クラウン独和辞典』(三省堂)等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。
成績評価の基準と方法	基準	ドイツ語の長文を構造分析し、辞書を使いながら内容の概略を説明することができる、またドイツ語で簡単な報告書や手紙が書ける等の力を習得して、評価点の合計が60点以上の者を合格とする。
	方法	受講態度 15%、小テスト 25%、期末試験 60%
備考	・ドイツ語Ⅲの内容を理解したことを前提にして授業を進める。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	フランス語 I	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	初心者を対象とした講義です。日常会話を通して、フランス語の発音の基礎、基本的な文法を学びます。
	到達目標	フランス語による初歩的な自己紹介文にかんする会話文を学ぶことを通じ、フランス語の単語・文章を音読できるようになる。 フランス語による自己紹介の練習を行うことにより、フランス語で自己紹介が出来るようになる。
授業計画	(1) 教科書に沿って授業を進めます。(1) 1 課：グループ分け、自己紹介・名詞の性・不定冠詞 (2) 1 課：名詞の性・不定冠詞・数詞 1～10 (3) 2 課：主語代名詞・動詞 avoir の活用、名詞の複数形 (1)・不定冠詞 (複数形) (4) 3 課：定冠詞・-ER 型動詞 (5) 4 課：名詞の複数形 (2)・否定文 (6) 4 / 5 課：グループ分け・否定の de・動詞 = tre・形容詞の一致 (性・数) (7) 5 課：形容詞の一致 (性・数)・形容詞の位置・男性第 2 形を持つ形容詞 (8) 6 課：-ir 型動詞・部分冠詞 (9) 6 / 7 課：質問文の作り方・前置詞と定冠詞の縮約 (10) 7 課：人称代名詞の強勢形 (11) 8 課：グループ分け・指示形容詞・数詞 100, 200... 1000 (12) 8 / 9 課：所有形容詞・動詞 aller と venir (13) 9 課：近接未来 (14) 9 課：近接過去 (15) まとめ：質問+練習	
自学自習	事前学習	適宜、事前学習用のプリントを配布したり、視聴すべき教材を指示します。指示通りに取り組んでください。
	事後学習	授業の進度に合わせて、復習課題を課します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	使用教材	南館英孝, 井上美穂, フローレンス・容子・シュールドル『新ペアで学ぼうフランス語』, 第三書房, ISBN978-4-8086-2043-1
	参考文献	詳細は開講時に指示します。
成績評価の基準と方法	基準	フランス語で自己紹介文が書け、簡単な質問にきちんとした文で答えることができる。
	方法	学期末試験 50 %, 平常点 (授業への参加具合+課題への取り組み) 50 %
備考	NHK のテレビ・ラジオのフランス語講座の視聴をお勧めします (特にラジオ)。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	フランス語Ⅱ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	フランス語を半年学習した受講生向けの授業です。フランス語の発音や、文法の基礎（おもに不規則動詞の現在形）を学びます。
	到達目標	使用頻度の高いフランス語の規則動詞、不規則動詞を学ぶことで1週間の予定、1日の予定、過去にしたことが言える。 1日の予定に関する会話を学ぶことで、フランス語で正確な時刻が言える。動詞、場所・時刻の表現を学ぶことで、フランス語で相手を誘ったり、誘いを断ることができる。
授業計画	(1) 10 課：グループ分け、前期の復習、代名動詞 (2) 10/11 課：代名動詞、数詞 20～69 (3) 11 課：中性代名詞：en, y, le (4) 11/12 課：中性代名詞：en, y, 数詞 70～99 (5) 12 課：疑問形容詞 quel (6) 13 課：非人称の il (7) 13/14 課：非人称の il, 形容詞と副詞の比較級, 最上級 (8) 14 課：形容詞と副詞の比較級, 最上級 (9) 15 課：命令形・序数詞 (10) 15/16 課：命令形・序数詞, 直接法複合過去 (11) 16 課：直接法複合過去 (12) 17 課：直接法半過去 (13) 18 課：人称代名詞（直接目的補語・間節目的補語） (14) 19 課：直接法単純未来・条件法現在 (15) まとめ：練習問題＋質問	
自学自習	事前学習	適宜、事前学習用のプリントを配布したり、視聴すべき教材を指示します。指示通りに取り組んでください。
	事後学習	授業の進度に合わせて、復習課題を課します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	使用教材	南館英孝, 井上美穂, フローレンス・容子・シュールドル『新ペアで学ぼうフランス語』, 第三書房, ISBN978-4-8086-2043-1
	参考文献	進度に応じ、適宜指示します。
成績評価の基準と方法	基準	フランス語で1日の予定、1週間の予定が書ける。1日の予定、1週間の予定に関する質問を理解し、的確に答えることができる。
	方法	学期末試験 50%, 平常点（授業への参加具合＋課題への取り組み）50%
備考	NHK のテレビ・ラジオのフランス語講座の視聴をお勧めします（特にラジオ）。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	フランス語Ⅲ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	フランス語1年間学習した受講生向けの授業です。フランス語の発音や、文法の基礎（おもに動詞の複合過去形）を学びます。
	到達目標	複合過去形を学ぶことによって、すでにしたこと、週末にしたことが言える。
授業計画	(1) 前学期の復習。 (2) 複合過去形（導入）。 (3) 前回の復習。週末にしたこと。動詞の活用（複合過去形）。 (4) 前回の復習。動詞の活用（複合過去形、まとめ）。 (5) 前回の復習。昨日したこと。 (6) 前回の復習。昨日したこと（つづき）。動詞の活用（複合過去形）。 (7) 前回の復習。旅行中にしたこと。動詞の活用（複合過去形）。 (8) 前回の復習。半過去（導入）。過去の習慣。 (9) 前回の復習。半過去。半過去と複合過去の使い分け。 (10) 前回の復習。半過去。半過去と複合過去の使い分け（つづき）。動詞の活用（半過去形） (11) 過去形のまとめ。 (12) 場所を表す表現。 (13) 場所を表す表現。自分が住んでいる町を紹介する。 (14) 場所を表す表現。自分が住んでいた町を紹介する（つづき）。 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	適宜、事前学習用のプリントを配布したり、視聴すべき教材を指示します。指示通りに取り組んでください。
	事後学習	授業の進度に合わせて、復習課題を課します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	使用教材	中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語 2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3
	参考文献	進度に応じ、適宜指示します。
成績評価の基準と方法	基準	フランス語ですでにしたこと、1週間にしたことが言える。それに関する質問に的確に答えることができる。自分と事物の位置関係が的確に表現できる。
	方法	学期末試験 50%，平常点（授業への参加具合＋課題への取り組み）50%
備考	NHK のテレビ・ラジオのフランス語講座の視聴をお勧めします（特にラジオ）。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	フランス語Ⅳ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	既にフランス語を1年半学んだ受講生、あるいはそれに相当する語学力のある方を対象とした講義です。おもに過去の語り方、描写。勧誘に関する表現を学びます。
	到達目標	複合過去、半過去を学ぶことで、過去にしたことを語るができる。 形容詞を学ぶことで、人物、事物の描写ができる。 モード（法）について学ぶことで、したいこと、しなければならないことが言える。
授業計画	(1) 前学期の復習。 (2) できごとと背景。 (3) 前回の復習。複合過去と半過去の復習とまとめ。 (4) 前回の復習。品質形容詞。描写。 (5) 前回の復習。主観を表す表現。意見・印象。 (6) 前回の復習。指示代名詞。欲しい物を示す。 (7) 前回の復習。好き嫌い、その理由。 (8) 前回の復習。身体の調子。 (9) 前回の復習。したいこと。しなければならないこと。 (10) 前回の復習。助言する。 (11) 前回の復習。許可。 (12) 前回の復習。依頼・指示。 (13) 前回の復習。依頼・指示。メール、手紙の書き方。 (14) 前回の復習。依頼・指示。メール、手紙の書き方（続き）。 (15) まとめと復習。	
自学自習	事前学習	適宜、事前学習用のプリントを配布したり、視聴すべき教材を指示します。指示通りに取り組んでください。
	事後学習	授業の進度に合わせて、復習課題を課します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	使用教材	中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語 2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3
	参考文献	進度に応じ、適宜指示します。
成績評価の基準と方法	基準	過去にしたことを語るができる。人物、事物の描写ができる。
	方法	学期末試験 50%，平常点（授業への参加具合＋課題への取り組み）50%
備考	NHK のテレビ・ラジオのフランス語講座の視聴をお勧めします（特にラジオ）。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語 I	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語 (中国語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は中国語を初めて学ぶ人が対象です。現代中国語 (普通話) の発音と文法を中心に、聞く、話す、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	前期は入門編として、発音の習得に重点を置きます。「ピンイン」と呼ばれる発音記号にそって発音できるようになることが目標です。そのために口頭練習を繰り返し、音の上がり下がりである「声調」に慣れましょう。
授業計画	(1) 発音 1 声調、短母音、複母音 (2) 発音 2 無気音、有気音、そり舌音 (3) 発音 3 鼻音 (4) 発音 4 声調の組み合わせ (5) 第 1 課「こんにちは」—動詞「是」、名前の言い方。「私は～と申します」 (6) 第 1 課「こんにちは」—動詞「是」、名前の言い方。「私は～と申します」 (7) 第 2 課「学校」—助詞「的」、疑問詞。「あなたはどちらの大学の学生ですか？」 (8) 第 2 課「学校」—助詞「的」、疑問詞。「あなたはどちらの大学の学生ですか？」 (9) 第 3 課「新宿」—動詞述語文。「あなたはどこへ行きますか？」 (10) 第 3 課「新宿」—動詞述語文。「あなたはどこへ行きますか？」 (11) 第 4 課「カメラを買う」—形容詞述語文、助動詞。「私はカメラが買いたい」 (12) 第 4 課「カメラを買う」—形容詞述語文、助動詞。「私はカメラが買いたい」 (13) 第 5 課「家族を語る」—動詞「有」、年齢の言い方。「私には兄がいます」 (14) 第 5 課「家族を語る」—動詞「有」、年齢の言い方。「私には兄がいます」 (15) 総復習	
自学自習	事前学習	意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『(簡明版) 日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014 年新刊、ISBN978-4-255-45237-1
	参考文献	相原茂・石田知子・戸沼市子『Why? にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、1996 年、ISBN 4810200345
成績評価の基準と方法	基準	授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の 3 分の 2 以上の出席が必要です。「ピンイン」にそって発音できるようになったものは合格とします。
	方法	受講態度 (20%)、小テスト (30%)、期末試験 (50%)。
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語 I	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	外国語 (中国語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は中国語を初めて学ぶ人が対象です。
	到達目標	1. 4 種の声調と半 3 声、声調変化の規則を理解し、声母と韻母を正確に発音し、自分の名前を中国語で紹介できるようになる。 2. 簡単な挨拶、1～10 の数字と「是」(である)と「有」(持っている)の構文を肯定、否定、疑問の形で言えるようになる。
授業計画	(1) 4 つの声調とその声調には意味があるということ。単母音と声調の練習 (2) 単母音・複母音と声調の練習。挨拶の言葉、主語と述語だけの短文 (3) 声母の発音練習。無気音と有気音、摩擦音、巻舌音、新しい単語と文 (4) 鼻音の練習。1～10 の数字の発音、新しい単語と文 (5) 第 1 課 人称代名詞と自己紹介 (6) 第 1 課 発音、朗読の練習と練習問題 (7) 第 2 課 「是」(～です)の表現とその疑問形 (8) 第 2 課 発音、朗読の練習と練習問題 (9) 第 3 課 目的語のある表現(～を～する)と形容詞述語文 (10) 第 3 課 発音、朗読の練習と練習問題 「こそあど」言葉と「～的」(～の)の表現 (11) 第 3 課 反復練習 (12) 第 4 課 「想～」(～したい) (13) 第 5 課 「有～」(～をもっている) 数の言い方(1～9999 億) 家族の呼び方 (14) 第 5 課 反復練習 比較(～よりも～だ)の表現 (15) 練習問題 総まとめ	
自学自習	事前学習	付録の CD を聞いておく。
	事後学習	学んだ文法と新出単語を復習して覚える。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子『日中いぶこみ広場 (簡明版)』 朝日出版社 2011 年
	参考文献	相原茂 『はじめての中国語学習辞典』 朝日出版社 2002 年
成績評価の基準と方法	基準	中国語で自分の名前を紹介できること、1～10 の数字を正確に発音できることが合格の最低条件です。
	方法	発音：20 点 筆記試験：80 点
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語Ⅱ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅰ」を履修した人が対象です。現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、聞く、話す、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	前期に学習した発音を反復練習して定着させるとともに、後期終了の段階で、基本的な文法構造を理解して、簡略化された漢字である「簡体字」を用いて表現できるようになることが目標です。
授業計画	(1) 前期の復習 (2) 第6課「富士山」 — 経験。「私は富士山に登ったことがあります」 (3) 第6課「富士山」 — 経験。「私は富士山に登ったことがあります」 (4) 第7課「喫茶店」 — 年月日・曜日・時刻、前置詞。「毎日何時に寝ますか？」 (5) 第7課「喫茶店」 — 年月日・曜日・時刻、前置詞。「毎日何時に寝ますか？」 (6) 第7課「喫茶店」 — 年月日・曜日・時刻、前置詞。「毎日何時に寝ますか？」 (7) 第8課「街」 — 前置詞、時間量。「ここからまっすぐ行きます」「二時間見ました」 (8) 第8課「街」 — 前置詞、時間量。「ここからまっすぐ行きます」「二時間見ました」 (9) 第8課「街」 — 前置詞、時間量。「ここからまっすぐ行きます」「二時間見ました」 (10) 第9課「京都」 — 動詞「在」、進行。「どこにいますか？」「食事をしています」 (11) 第9課「京都」 — 動詞「在」、進行。「どこにいますか？」「食事をしています」 (12) 第9課「京都」 — 動詞「在」、進行。「どこにいますか？」「食事をしています」 (13) 第10課「寿司」 — 主述述語文、結果補語。「お腹がすいた」「書き終わりました」 (14) 第10課「寿司」 — 主述述語文、結果補語。「お腹がすいた」「書き終わりました」 (15) 第10課「寿司」 — 主述述語文、結果補語。「お腹がすいた」「書き終わりました」	
自学自習	事前学習	意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『（簡明版）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014年新刊、ISBN978-4-255-45237-1
	参考文献	相原茂・石田知子・戸沼市子『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、1996年、ISBN 4810200345
成績評価の基準と方法	基準	授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。基本的な文法構造を理解して表現できるようになれば合格とします。
	方法	受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語Ⅱ	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	中国語Ⅰで学んだ発音をさらに正確なものとし、語彙を増やし、新しい文法と表現を学びます。簡単な文章を読んで書く練習もします。
	到達目標	(1) 経験の表現、数字を使った表現(年月日・曜日・時刻等)、「～するのが好き」の表現を理解し使うことができる。 (2) 「要」・「能」などの助動詞を使うことができる。 (3) 「在～」・「从～到～」と結果補語の表現を理解し使うことができる。
授業計画	(1) オリエンテーション 前期の復習 第6課 本文の朗読と新しい単語 (2) 第6課 朗読、経験の表現 「～するのが好き」 助動詞「要」 (3) 第6課 数詞を使った表現 練習問題 (4) 第7課 朗読と新しい単語 年月日、曜日、時刻の言い方 (5) 第7課 文末の「了」 状況変化の表現 (6) 第7課 練習問題 (7) 第8課 朗読と新しい単語 時間量の言い方 量詞の用法 (8) 第8課 「～から」と「～へ」の表現 (9) 第8課 朗読 練習問題 (10) 第9課 朗読と新しい単語 「～に在る」の表現 (11) 第9課 「～しているところだ」 進行の表現 (12) 第9課 朗読 練習問題 (13) 第10課 朗読と新しい単語 可能の表現 「能」 (14) 第10課 結果補語 動作の結果まで含めた言い方 (15) 第10課 練習問題 総まとめ	
自学自習	事前学習	・付属のCDで発音を聞いておく。
	事後学習	・学んだ文法と新出単語を復習して記憶する。 ・テキストの本文を何度も読み、書き写す。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂 陳淑梅 飯田敦子 『日中いぶこみ広場』 朝日出版社 2011年
	参考文献	相原茂編著 『はじめての中国語学習辞典』 朝日出版社 2002年
成績評価の基準と方法	基準	経験の表現や数詞を使った表現、助動詞・結果補語を含む文等を理解し、翻訳し、かつ簡単な作文ができたなら合格とします。
	方法	発音：20点 筆記試験：80点
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語Ⅲ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅰ・Ⅱ」の学習を基礎に、現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、話す、聞く、読む、書くを総合的に学習します。特にこの時期は、語彙力を付けることに力を注ぎます。新出単語を、聞き取れる、発音できるようになって、語彙を増やして中国語の運用能力を高めることが目標です。「中国語Ⅰ・Ⅱ」を受講していること、あるいは同等の学習歴があることが受講の条件です。
	到達目標	1年次の学習を土台に、より高度な表現を習得します。文法体系の学習をさらに進めて語彙を増やし、前期終了の段階で、日常生活でよく使うような表現ができることが目標です。
授業計画	(1) 1年次の復習 (2) 1年次の復習 (3) 第11課「スキー」—様態補語 (4) 第11課「スキー」—練習 (5) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (6) 第12課「動物園」—方向補語1 (7) 第12課「動物園」—方向補語2 (8) 第12課「動物園」—練習 (9) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (10) 第13課「春休み」—疑問詞の不定用法 (11) 第13課「春休み」—仮定の表現 (12) 第13課「春休み」—練習 (13) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (14) 総復習（整理プリント） (15) 総復習（整理プリント）	
自学自習	事前学習	意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子『（簡明版）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014年新刊、ISBN 978-4-255-45237-1
	参考文献	相原茂・石田知子・戸沼市子『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、1996年、ISBN 4810200345
成績評価の基準と方法	基準	授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。日常会話に必要な基本的語彙を習得して、会話、作文ができたものは合格とします。
	方法	受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	中国語Ⅳ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の学習を基礎に、現代中国語の発音と文法を中心に、話す、聞く、読む、書くを総合的に学習します。後期は二年間の中国語学習のまとめの時期です。これまで習った単語や文法事項を駆使して、少し長い中文の読解ができることや、中国語による基本的な日常会話ができるようになることが目標です。「中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を受講していること、あるいは同等の学習歴があることが受講の条件です。
	到達目標	一年次および二年次前期の学習の成果を試すために、中国検定試験の問題にチャレンジします。中国語検定はリスニングと筆記で構成されています。中国語の基礎力を固めることが目標です。また基本的な中国語による日常会話を二人一組で行い、実践力を身につけることも目標です。
授業計画	(1) 前期の復習 (2) 第14課「空港の外」 — 可能補語 (3) 第14課「空港の外」 — 「把」構文 (4) 第14課「空港の外」 — 練習 (5) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (6) 第15課「ホテル」 — 選択疑問文 (7) 第15課「ホテル」 — 使役の表現 (8) 第15課「ホテル」 — 練習 (9) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (10) 第16課「部屋の中」 — 「もうすぐ～する」 (11) 第16課「部屋の中」 — 受け身の表現 (12) 第16課「部屋の中」 — 練習 (13) 副教材—実践会話練習・中国語検定問題 (14) 総復習（整理プリント） (15) 総復習（整理プリント）	
自学自習	事前学習	意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	学習した文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	使用教材	相原茂・陳淑梅・飯田敦子『（簡明版）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014年新刊、ISBN 978-4-255-45237-1
	参考文献	相原茂・石田知子・戸沼市子『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社、1996年、ISBN 4810200345
成績評価の基準と方法	基準	授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。中国語検定試験問題の6割が正解すれば合格とします。
	方法	受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語 I	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は韓国語を初めて学習する人が対象です。韓国語の文字（ハングル）と発音から学びます。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 韓国語の文字と発音を正確に習得する。 (2) 自己紹介ができる。 (3) プレゼントを贈ったり、受け取ったりする時の会話ができる。 (4) 出身地について尋ねたり、表すことができる。 (5) 家族やペットについて尋ねたり、表すことができる。 (6) 持ち物や友人について尋ねたり、表すことができる。
授業計画	(1) 韓国語の文字と発音 (2) 韓国語の文字と発音 (3) 韓国語の文字と発音 (4) 韓国語の文字と発音 (5) 第1課 私はイユジンです。(自己紹介) (6) 第1課 私はイユジンです。(自己紹介) (7) 第2課 これプレゼントです。(プレゼントの受け渡し) (8) 第2課 これプレゼントです。(プレゼントの受け渡し) (9) 第3課 どの出身ですか。(出身地について) (10) 第3課 どの出身ですか。(出身地について) (11) 第4課 この人は誰ですか。(家族やペットについて) (12) 第4課 この人は誰ですか。(家族やペットについて) (13) 第5課 ソウルに韓国人の友達がいるんです。(持ち物や友人について) (14) 第5課 ソウルに韓国人の友達がいるんです。(持ち物や友人について) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習をすること。
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること。
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	授業の中で必要に応じて紹介する。
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語 I	
担当者	金 孝珍 / Kim, Hyojin	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は韓国語を初めて学習する人が対象です。韓国語の文字（ハングル）と発音から学びます。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 韓国語の文字と発音を正確に習得する。 (2) 自己紹介ができる。 (3) プレゼントを贈ったり、受け取ったりする時の会話ができる。 (4) 出身地について尋ねたり、表すことができる。 (5) 家族やペットについて尋ねたり、表すことができる。 (6) 持ち物や友人について尋ねたり、表すことができる。
授業計画	(1) 韓国語の文字と発音 (2) 韓国語の文字と発音 (3) 韓国語の文字と発音 (4) 韓国語の文字と発音 (5) 第1課 私はイユジンです。(自己紹介) (6) 第1課 私はイユジンです。(自己紹介) (7) 第2課 これプレゼントです。(プレゼントの受け渡し) (8) 第2課 これプレゼントです。(プレゼントの受け渡し) (9) 第3課 どこの出身ですか。(出身地について) (10) 第3課 どこの出身ですか。(出身地について) (11) 第4課 この人は誰ですか。(家族やペットについて) (12) 第4課 この人は誰ですか。(家族やペットについて) (13) 第5課 ソウルに韓国人の友達がいるんです。(持ち物や友人について) (14) 第5課 ソウルに韓国人の友達がいるんです。(持ち物や友人について) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語Ⅱ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅰ」の履修者または韓国語を3ヶ月程度学習した人が対象です。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 居場所を尋ねたり、表すことができる。番号・月日等を表現できる。 (2) 習慣を尋ねたり、表すことができる。 (3) 予定を尋ねたり、表すことができる。 (4) 個数、年齢、時間等を表現できる。 (5) 週末にやったことについて尋ねたり、表すことができる。 (6) まだやっていないことについて表現できる。電話番号を表現できる。 (7) 気持ちや感じたこと、状態や性質について表現できる。
授業計画	(1) 第6課 私は図書館にいます。(居場所、漢語の数詞) (2) 第6課 私は図書館にいます。(居場所、漢語の数詞) (3) 第7課 普通休みの日は何しますか。(動詞のへヨ体) (4) 第7課 普通休みの日は何しますか。(動詞のへヨ体) (5) 第8課 今週の土曜日に何しますか。(動詞のへヨ体、動詞の否定形) (6) 第8課 今週の土曜日に何しますか。(動詞のへヨ体、動詞の否定形) (7) 第9課 映画は何時に始まりますか。(固有語の数詞、時刻) (8) 第9課 映画は何時に始まりますか。(固有語の数詞、時刻) (9) 第10課 週末は何しましたか。(動詞の過去形) (10) 第10課 週末は何しましたか。(動詞の過去形) (11) 第11課 電話番号は何番ですか。(動詞の過去形<否定>、電話番号) (12) 第11課 電話番号は何番ですか。(動詞の過去形<否定>、電話番号) (13) 第12課 今電話大丈夫ですか。(形容詞のへヨ体) (14) 第12課 今電話大丈夫ですか。(形容詞のへヨ体) (15) まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習をすること。
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること。
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	授業の中で必要に応じて紹介する。
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語Ⅱ	
担当者	金 孝珍 / Kim, Hyojin	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅰ」の履修者または韓国語を3ヶ月程度学習した人が対象です。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 居場所について説明できる。番号・月日等を表現できる。 (2) 習慣について表現できる。 (3) 予定について表現できる。 (4) 個数、年齢、時間等を表現できる。 (5) 週末にやったことについて表現できる。 (6) まだやっていないことについて表現できる。電話番号を表現できる。 (7) 気持ちや感じたこと、状態や性質について表現できる。
授業計画	(1) 第6課 私は図書館にいます。(居場所、漢語の数詞) (2) 第6課 私は図書館にいます。(居場所、漢語の数詞) (3) 第7課 普通休みの日は何しますか。(動詞のへヨ体①) (4) 第7課 普通休みの日は何しますか。(動詞のへヨ体①) (5) 第8課 今週の土曜日に何しますか。(動詞のへヨ体②、動詞の否定形) (6) 第8課 今週の土曜日に何しますか。(動詞のへヨ体②、動詞の否定形) (7) 第9課 映画は何時に始まりますか。(固有語の数詞、時刻) (8) 第9課 映画は何時に始まりますか。(固有語の数詞、時刻) (9) 第10課 週末は何しましたか。(動詞の過去形) (10) 第10課 週末は何しましたか。(動詞の過去形) (11) 第11課 電話番号は何番ですか。(動詞の過去形<否定>、電話番号) (12) 第11課 電話番号は何番ですか。(動詞の過去形<否定>、電話番号) (13) 第12課 今電話大丈夫ですか。(形容詞のへヨ体①) (14) 第12課 今電話大丈夫ですか。(形容詞のへヨ体①) (15)まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習をすること。
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること。
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語Ⅲ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅱ」の履修者または韓国語を6ヶ月程度学習した人が対象です。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 気持ちや感じたこと、状態や性質について表現できる。 (2) 過去に経験したこと、感じたことについて表現できる。 (3) やってみるように促したり、依頼することができる。 (4) 得意なこと・苦手なことを表現できる。 (5) 意志・予定を表現できる。くだけた文体で話すことができる。 (6) 意向を尋ねたり、表すことができる。 (7) 希望・願望を尋ねたり、表すことができる。
授業計画	(1) 第13課 学校の授業は難しくないですか。(形容詞のヘヨ体②、形容詞の否定形) (2) 第13課 学校の授業は難しくないですか。(形容詞のヘヨ体②、形容詞の否定形) (3) 第14課 あの映画どうでしたか。(形容詞の過去形) (4) 第14課 あの映画どうでしたか。(形容詞の過去形) (5) 第15課 理沙さんがたくさん教えてくださいね。(一度やるように促す、依頼する) (6) 第15課 理沙さんがたくさん教えてくださいね。(一度やるように促す、依頼する) (7) 第16課 二人とも韓国語本当にうまいですよ。(得意なこと、苦手なこと) (8) 第16課 二人とも韓国語本当にうまいですよ。(得意なこと、苦手なこと) (9) 第17課 僕も韓国に帰るつもりだよ。(意志・予定を表す、くだけた文体) (10) 第17課 僕も韓国に帰るつもりだよ。(意志・予定を表す、くだけた文体) (11) 第18課 一緒に韓国に行きませんか。(意向を尋ねる・表す、意志を表す) (12) 第18課 一緒に韓国に行きませんか。(意向を尋ねる・表す、意志を表す) (13) 第19課 参鶏湯を食べたいです。(希望・願望を表す、意志・約束を表す) (14) 第19課 参鶏湯を食べたいです。(希望・願望を表す、意志・約束を表す) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習をすること。
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること。
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	授業の中で必要に応じて紹介する。
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	韓国語Ⅳ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅲ」の履修者または韓国語を9ヶ月程度学習した人が対象です。授業は、①目標会話のあらすじの確認 ⇒ ②単語と表現の学習 ⇒ ③本文の聞き取り ⇒ ④文法と表現の学習 ⇒ ⑤発音練習 ⇒ ⑥翻訳練習 ⇒ ⑦会話練習の順で行う。
	到達目標	(1) 食事や飲み物を注文することができる。 (2) 同意を求めたり、今感じたことについて表現できる。 (3) 改まった丁寧な文体で話すことができる。 (4) 可能なことを表現できる。 (5) 過去の経験を尋ねたり、表すことができる。 (6) 何かを提案して意見を求めることができる。 (7) 行動を促すことができる。
授業計画	(1) 第20課 何になさいますか。(食事や飲み物を注文する) (2) 第20課 何になさいますか。(食事や飲み物を注文する) (3) 第21課 本当においしいですね。(同意を求める、感嘆) (4) 第21課 本当においしいですね。(同意を求める、感嘆) (5) 第22課 美味しくいただきました。(動詞・形容詞のハムニダ体) (6) 第22課 美味しくいただきました。(動詞・形容詞のハムニダ体) (7) 第23課 遊覧船から夜景を見ることができますか。(可能であること) (8) 第23課 遊覧船から夜景を見ることができますか。(可能であること) (9) 第24課 漢江遊覧船乗ったことがありますか。(経験の有無) (10) 第24課 漢江遊覧船乗ったことがありますか。(経験の有無) (11) 第25課 明日は何しましょうか。(提案して、意見を求める) (12) 第25課 明日は何しましょうか。(提案して、意見を求める) (13) 第26課 思い出たくさん作ってくださいね。(行動を促す) (14) 第26課 思い出たくさん作ってくださいね。(行動を促す) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した部分の音読練習をすること。
	事後学習	授業で扱った部分の音読練習、宿題、小テストの勉強をすること。
使用教材・参考文献	使用教材	入佐信宏・金孝珍 『これで話せる韓国語 STEP1』 白帝社 2015年
	参考文献	授業の中で必要に応じて紹介する。
成績評価の基準と方法	基準	上記の到達目標を達成した者を合格とする。
	方法	授業での積極性(10点)、小テスト(40点)、期末試験(50点)で評価する。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル